

一般質問



農林業の振興策は 田沢湖病院をどうする

浦山敏雄

農業農村を活性化するための戦略は

質問 宿泊での農業体験、空き家や廃校を使った

滞在型の農業体験は、地域農業の活性化につながる。

農林水産関連の集落には祭り、伝統文化の継続、景観の保全等の復活対策が必要であると考えられるか。十九年度の農政は、認定農業者（四ヘクタール以上）や集落営農組織（二十ヘクタール以上）を応援する施策であったが、今二十年度はその条件がなくなり、生産者は誰でも応援することになったと考えていいのか。

市長 面積にこだわらず、自立してやっていく農家には制度支援がある、国と一緒に支援していく。

小さい規模の農業ではやっていけない部分について集落営農での取り組みは意味のあることであり今後も市として推奨していく。心配なのは集落営農からの脱退の懸念である。

森林・林業の産業振興は出来ないか

質問 近年、森林と林業をめぐ

る状況は大きく変化し、地球温暖化防止や生態系保全といった環境面での森林の役割に期待が高まってきている。

木材市況も好転の兆しが見られてきている。公共事業が減少の中、林業振興を雇用創出産業と位置付け出来ないか。地方自治体と企業が手を結び森林整備と再生を図る事業が全国で広がっている。市としてこれらの施策についての方策がないのかお尋ねしたい。

市長 仙北市の森林は杉の人工林が大半であるが

かなりある。伐期を迎えた木もたくさんあるので林業活性化と木材産業の振興を図る必要がある。木材チップを利用したバイオマス事業化へ向けての調査に取り組んでいる。昨年県主導の「企業立地促進法」に基づく木材関連の産業集積をめざす地域産業活性化協議会に参加した。その一員として民間と行政との情報交換をしながら林業の活性化を図っていく。なお、枝打ち、間伐など旧西木村で行った森林・林間体験事業は今後も続

けていく。

水源の里づくり構想はどうか

質問 水が豊富であるが、高

齢化の進む田沢地区に「水源の里づくり」事業を導入できないか。住宅建設や改修、都市住民との交流、特産物の開発など活性化策として条例化できないか伺います。

交流センター（旧田沢小学校）はかなり活用が増えてきているが、活性化センター（旧田沢中学校）、田沢地区コミュニティセンターは利用されていない。この活用方法は、

市長 豊富な水の恵みを受

けた自生わさび、蜜、ハリザッコ等いい自然環境が残っている田沢地区は、活性化、旧学校等遊休施設の有効活用とあわせながら自然体験エリアと位置付けるのも一つの方策と考える。

旧学校等遊休施設はこれからもずっと管理費がかかる。不要なもの解体もありうるが、かかる経費以上の効果がある活用方法を考えてゆきたい。

したい。

観光客誘致のためにも医師の確保を

質問 医師確保対策室を強

化し、進めている病院経営改革はどうなっているのか。角館病院の赤字対策、改築計画、田沢湖病院の医師確保対策などの問題に対する基本的な姿勢を伺う。

市長 田沢湖病院の医師数

の現状は十七年三月までは五人、十七年四月から十八年二月まで四人、十八年三月から十九年六月まで三人、その後一人減って一人入って十九年九月より三人である。これは秋田大学の医局への長年の派遣要請やホームページ等も含めた医師募集の結果であり、今回の医師はその募集に応募頂いたものである。



田沢地区コミュニティセンターの活用は